

システミック・コンステレーション

第7期トレーニング・ファシリテーター養成コース

プログラムと募集要項

2016年3月

—家族・ビジネス・組織—

2004年-第1期トレーニング・プログラム

2006年-第2期トレーニング・プログラム

2008年-第3期トレーニング・プログラム

2010年-第4期トレーニング・プログラム

2012年-第5期トレーニング・プログラム

2013年-第5期特別プログラム・ファシリテーター養成コース

2013年-第6期トレーニング・基礎コース 2014年-研究コース 2015年-ファシリテーター養成コース

2014年-第7期トレーニング・基礎コース 2015年-研究コース **2016年-ファシリテーター養成コース**

2015年-第8期トレーニング・基礎コース 2016年-研究コース

2016年-第 9期トレーニング・基礎コース

2016年-第10期トレーニング・基礎コース

命が

自ら知るものと

真っすぐにつながる

理念

ヘリンガー・インスティテュート・ジャパンは、ファミリー・コンステレーション、システムック・コンステレーションを生命が本来の流れに回帰し、人々が自身の能力を最大限に生きるための手助けをする有機的、全生命的セラピーとして捉え、この技法をご自身の助けに役立てていただくための場の提供と、その媒体となる人材を育成する機関として発足しました。私たちが提供するトレーニングを修了した方々の知識と理解、経験、技術、生き方を通して、この技法が一人でも多くの必要とする人々の手に届けられるようにするために、私たちはこれまで培った知識と経験とともに最新の情報を提供し続けます。

概略

ファミリー・コンステレーションは、バート・ヘリンガーがその名を知られるようになる以前に、すでに心理療法において確立し、日本では家族布置と呼ばれていました。ヘリンガーはその上に彼独自の洞察をもとに画期的な視点を導入し、そこからファミリー・コンステレーションは飛躍的に治癒の可能性を拡大しました。2002年前後からヘリンガーは、ファミリー・コンステレーションの土台の上に、言語を介入させない技法を「ムーブメントオブザソウル」または「ムーブメントオブザスピリット」等と名称を変更し、その様式をそれまでとは別の形で変容させていき、その頃からファミリー・コンステレーションは二つの方向へ進化を始めました。その後、バート・ヘリンガーの仕事は変化し続け、現在、彼はその名称を「ニュー・ファミリー・コンステレーション」と呼ぶようになっています。

ヘリンガー・インスティテュート・ジャパンが伝達するファミリー・コンステレーションは、家族に限らず現象や時代背景、歴史の要素、ビジネス的視点も包含するようになり、システムック・コンステレーションとしても知られるようになっていきます。その方法は、クライアントにとってより理解し易く、セラピーの領域内で教え、伝達することが可能であると考えて、2002年までバート自身が行っていた、言語を介入させ、代理人の動きにある程度制限を加え、ファシリテーターが介入していく方法を選択しています。

それは代表である小林真美（チェトナ小林）が1999年の2月に初めてバート・ヘリンガーに出会って以来、氏から学び続けたものに、第1期トレーニング講師のハラルド・ホーネン、ドイツのコンステレーション界トップ4であるハンター・ボームント、ヤコブ・シュナイダー、グンタード・ヴェーバー、アルブレヒト・マー、第2期トレーニング講師のリチャード・ウォールスタイン、オーストリアの第一人者であるグニ・バクサ、クリスティーネ・エッセン他、ウルスラ・フランケ、ダグマー・イングヴァーセン、他多くのドイツ人講師から学んできたものと、現在も毎年のようにドイツに通い研鑽に励み、深めてきた理解と経験と知識と技術に自身の洞察を加えたものです。ヘリンガー・インスティテュート・ジャパンは、これまでに蓄積してきたシステムック・コンステレーションに関する知識、経験、技術、理解、能力の集大成を伝達する場として、トレーニングを提供しています。

第7期・ファシリテーター養成コース

(2016年3月開講) 3日間×5回

ファシリテーターとしての姿勢、方法、技術、こつを学ぶ

1回目：2016年 3月25日（金）～27日（日）

講師：小林 真美（チェトナ小林）

開催地：千葉 山崎製パン企業年金基金会館

「クライアントと向き合うとき」－ファシリテーターの領域

- 瞑想と呼吸 — 意識の使い方、注意深くある
- 頭とハートと腹 — それぞれの意識
- クライアントとの距離 — 座る場所から始まる、介入の距離は
- インタビューの仕方 — 法則と照らし合わせて
- センテンスのとらえ方と種類 — 基本となるセンテンス

2回目：2016年 6月10日（金）～12日（日）

講師：小林 真美（チェトナ小林）

開催地：札幌 かでる2.7

「代理人の情報を読み解く、時間軸の見分け方」－直感と情報を使う

- ファシリテーターがフィールドをホールドする
- 代理人の活用法/代理人個人の投影
- 代理人に対するファシリテーターの投影 — 投影とセルフイメージ
- 時間軸を見分ける — 過去、現在、未来の場所

3回目：2016年 9月2日（金）～4日（日）

講師：小林 真美（チェトナ小林）

開催地：東京を予定

「個人セッションの3種類の方法」－三つの方法を必要に応じて使い分ける

- 人形を使う方法
- 紙やフェルト、クッションを使う方法
- イマジネーションを使う方法
- 人形を使う方法と通常のコンステレーションの両方を使う

4回目：2016年 11月25日（金）～27日（日）

講師：小林 真美（チェトナ小林）

開催地：東京を予定

「テーマ別ワークショップのファシリテートの仕方：例えば恋愛、例えばお金」

- テーマ別ワークショップとは
- 善悪の判断 — 欲自体と欲の目的の見極め
- 意味を定義する — 基準の確立、テーマに対する姿勢

5回目：2017年 2月10日（金）～12日（日）－修了式

講師：小林 真美（チェトナ小林）

開催地：東京を予定

「コンステレーションによるトラウマワーク」

- トラウマワークとは — そしてその対処法
- 現在のトラウマとシステミックなトラウマ
- システムの問題かどうかを見分ける
- コンステレーションを用いトラウマとどう向き合うか
- 修了式にかえて — お茶を囲んで

- このトレーニング・プログラム終了後、2ヶ月以内にレポートを提出していただき、そのレポート受理をもちましてプログラム修了とし、修了証授与となります。
- 各回、受講者の個人ワークやスーパービジョンケースを取りあげ、事例として扱いながら進行します。各回とも時間にもよりますが、受講者の希望する学びたいテーマや、おさらいしたいテーマがあれば、それにも応えながら進行させていきます。
- ファシリテーター養成コースのプログラムの内容、順番等に変更になる場合があります。講師、開催地等に変更が生じた場合は早急にご連絡します。

このファシリテーター養成コースでは、受講者全員が身につける必要のある、より具体的で専門的な技術とコツについての指導を受けます。

全員がファシリテートする経験を積んでいき、その過程で自分自身の能力を信頼できるようになるために、その感覚を体得していくようにプログラムされています。

基礎コースで植えられた種が、研究コースで生まれ、強い木となった次の段階として、ファシリテーター養成コースは庭師として種を助け、木を育み、守り、維持する方法を身につける場となります。

庭師としての技術は自分という木の成長を助けるためにも役立ちます。

クライアントとの距離感、インタビューの仕方、代理人を活かす方法、代理人に振り回されるとき、センテンスを得る、ビジョンの活用、ファシリテーターとは何か、どのように在ることがクライアントの役に立つのかを追求し、ファシリテーターとしての立ち位置を知ります。

様々な法則や秩序を会得していく中、コンステレーションの中で起きる想定外の出来事にいかに自分を開いて、どのように向き合い、進んで行くかという、人生を生きるための方法論がそのままファシリテーターとしてのあり方に反映されていきます。

個人セッションの仕方、テーマ別のワークショップのやり方、呼吸、姿勢、システミックな視点からのトラウマワーク、ワークの中の落とし穴、危険なポイント等、ワークショップ、個人セッションにおけるファシリテーターが注意すべきポイントに重点を置いた訓練を行います。

※ ファシリテーター養成コースの募集要項は、基礎コース、研究コースとは異なり、欠席規定などは条件がより厳しくなります。詳細は欠席規定をご覧ください。

募集要項

- ファシリテーター養成コースは、過去の HIJ が主催したトレーニングで基礎コース、研究コースの修了者および、修了証を受け取った方のためのトレーニング・プログラムで、一般の方の受講を受け付けません。
- 一回毎の受講、関心のある回のみ受講が可能です。
- 3日間通しでの受講が条件です。1日のみ、2日間のみ受講は受け付けません。
- 欠席の補講はありません。欠席に関する条件は欠席規定に準じます。
- 5回のプログラム全てにお申し込みになり一括納入される場合は割引が適用されません。キャンセルに関する条件はキャンセル規定に準じます。
- 受講料には、トレーニングの際の宿泊費、食費、旅費は含まれません。宿泊費、食費、旅費は各自の負担とします。
- 5回のプログラムを全て受講された場合、5回目終了後に簡単なレポートを提出していただき、その受理後に「ファシリテーター養成コース修了証」をお渡しします。
- 数年間をかけて5種類のプログラムを別々に受講したとしても、ファシリテーター養成コース修了証授与の対象となります。
- 修了証は、HIJ 認定ファシリテーターを目指す方には「認定審査申請資格」に必要となるものです。詳細は当ホームページ「認定ファシリテーター制度」をご参照ください。<http://www.hellingerinstitutejapan.com/facilitator/>
- 受講者個人によるトレーニングの内容、講義や説明の録音は認めますが、録画は認めません。またその録音物の販売、録音内容をホームページなどに掲載し、出版することは許可しません。
- 各人の個人的ワークに関しては、録音を希望する受講者がそのワークを受けるクライアントとなる人の許可を得た場合にのみ録音してよいこととします。

欠席規定

- 参加者の事情により欠席した場合、受講料の返金はありません。
- 欠席に対し補講はありません。ご希望の方は次期の同じプログラムの回を受講してください。1年以内であれば次回、同じプログラムに振替可能ですが、一括納入による割引は取り消しとなります。次回に差額分をお支払いいただくことにより受講していただけます。
- 欠席した分を振替する受講であっても3日間通しでの受講が条件です。1日のみ、2日間のみ受講は受け付けません。

キャンセル規定

- 1回のプログラム（3日間）に対し、また5回コース一括納入とも、参加者の事情によるご入金後のキャンセルにつきましては、下記の要領で手数料等がかかります。
 - 7日前まで ……受講料の15%
 - 6日～2日前まで ……受講料の半額
 - 前日・当日 ……受講料の全額
- キャンセルの際は、メールまたは書面にて、その旨ご連絡ください。また、そのご連絡の際に、ご返金先口座情報をお知らせください。キャンセル料の他に銀行の振り込み手数料を差し引かせていただきます。

一括納入後のキャンセルについて

- 一括納入を条件に割引適用の受講料によってコース全5回に申し込んだ方が、本人または、家族の急病、事故等による理由で、トレーニングコース開始から1年以内に受講の継続を中止せざるを得ない場合、手数料、参加した回数を受講料、銀行の振り込み手数料を差し引き、払い戻しをします。
- 返金額は、割引の条件が受講を取りやめた本人によって解消されたものとし、コース一括納入に対する割引以前の金額となり、一回毎に受講した場合の正規金額(97,200円×参加回数)で計算された額が返還されます。
- 払い戻しをご請求の場合は、入院証明書、事故証明書のコピーの提出、またはそれらに代わる医療機関等での支払いを表す領収証のコピーの提出をお願いします。

お申し込みについて

受講申込書に養成コースのどのプログラムを受講希望かを○で囲み、同意書と共に郵送で、ヘリンガー・インスティテュート・ジャパン宛にお送りの上、受講料をお振込ください。

- | | |
|------------------------------|---------------|
| ①「クライアントと向き合うとき」－ファシリテーターの領域 | 97,200円（税込み） |
| ②「代理人の情報を読み解く、時間軸の見分け方」 | 97,200円（税込み） |
| ③「個人セッションの3種類の方法」 | 97,200円（税込み） |
| ④「テーマ別ワークショップのファシリテートの仕方」 | 97,200円（税込み） |
| ⑤「コンステレーションによるトラウマワーク」 | 97,200円（税込み） |
| ⑥ コース全5回受講料（一括納入割引適用） | 432,000円（税込み） |

振込先:

- 郵便貯金口座: 記号19030 番号18645281

加入者名 : ヘリンガー・インスティテュート・ジャパン

- 店名:九〇八(キュウゼロハチ)店番:908 ※ 銀行からゆうちょ銀行へお振込みの場合

口座番号:普通預金 1864528

注意事項

- ヘリンガー・インスティテュート・ジャパン主催のシステムミック・コンステレーションのワークショップ、トレーニング、養成コースでは、研究と教育を目的として DVD に記録されることがあります。その DVD は守秘義務の元であり、一般に販売され、視聴されることはありません。

一部記録を文書化し、指導用テキストにする場合がありますが、参加者、受講者の個々が特定されることはありません。名前、年齢は架空のものに変えられます。

- 人によりワークショップ、トレーニング受講中または受講後に、感情的、身体的変化を感じる場合があります。そのような時は、主催するヘリンガー・インスティテュート・ジャパンにご連絡、ご相談ください。

同意書

私は第7期トレーニング・ファシリテーター養成コース 2016 が学びの場であり、ワークショップとは異なるものであること、また、個人の問題への解決を計るための環境ではないことを理解しています。ファシリテーター養成コースで行われる受講者個人の問題への働きかけは、受講者全員の学びのためになされることを理解し、問題の解決は副次的な産物として受け止めます。個人的な問題の解決を求める場合は、ファシリテーター養成コース外のワークショップ、個人セッションに参加します。私はファシリテーター養成コースの中で録画される内容は一般に公開されるものではないことを承知しており、その記録に関しての権利または異議を申し立てません。

感情的、身体的変化を体験する可能性については受講を決めた自己の責任であることを理解しています。感情や体調に変化があり、助言等を必要とする場合は、すぐにヘリンガー・インスティテュート・ジャパン担当者に連絡、相談します。

私は記載されている、募集条件、注意事項、内容について承知し、それらに同意の上でヘリンガー・インスティテュート・ジャパン主催、第7期トレーニング・ファシリテーター養成コース 2016 への参加を申し込みます。

署名年月日 平成 年 月 日

名前 _____ 印 _____

住所 〒 _____

※ この用紙のコピーを保存くださるようお願い致します

第7期トレーニング・ファシリテーター養成コース 2016

受講申込書

私は記載されている、募集条件、注意事項、内容について承知し、それらに同意の上でヘリンガー・インスティテュート・ジャパン主催、第7期トレーニング・ファシリテーター養成コース 2016 の受講を申し込みます。

コースのどのプログラムに受講希望かを○で囲んでください

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| ① 「クライアントと向き合うとき」 | 2016年 3月25日(金)～27日(日) |
| ② 「代理人の情報を読み解く、時間軸の見分け方」 | 2016年 6月10日(金)～12日(日) |
| ③ 「個人セッションの3種類の方法」 | 2016年 9月 2日(金)～ 4日(日) |
| ④ 「テーマ別ワークショップをファシリテートする」 | 2016年 11月 25日(金)～ 27日(日) |
| ⑤ 「コンステレーションによるトラウマワーク」 | 2017年 2月10日(金)～12日(日) |
| ⑥ コース全5回 一括申し込み | |

署名年月日 平成 年 月 日

ふりがな
名前

印

住所 〒

電話番号/FAX

携帯電話番号

携帯メールアドレス

e-メールアドレス

職業

生年月日

ヘリンガー・インスティテュート・ジャパンは、上記、個人情報をヘリンガー・インスティテュート・ジャパンと、そこに関連するトレーニング、ワークショップに関する用件のみに使用致します。

ヘルリッガー・インスティテュート・ジャパン

連絡先：札幌オフィス

〒063-0035

札幌市西区西野5条8丁目5-15-201

TEL/FAX：011-662-9576

Homepage：www.hellingerinstitutejapan.com

千葉オフィス：千葉縣市川市